

中札内村総合行政推進委員会 第3回委員会 会議録

日 時 令和6年12月19日（木） 19:00～20:00
場 所 中札内村役場 会議室2
出席委員 下埜智加、佐藤裕二、杉本啓子、嶋崎直子、鳥倉華以、林 理央、佐久間正、
杉本伸子、長谷部早苗、井川晃博、佐藤孝志、渡邊 環、荻原精一（13名）
欠席委員 桑田尚行、後藤友太、加藤成孝（3名）
事務局 総務課長 中道 真也、総務課長補佐 下浦 強、総務課主査 金沢 愛

議 事

1 開会

（中道課長） それでは、ご案内の時間になりましたので、会議を開催させていただきます。
師走の大変お忙しい中、第3回総合行政推進委員会に出席いただきまして誠にあり
がとうございます。

本日は、第3期中札内村総合戦略案、及び人口ビジョンの案に対し、ご意見を
いただきます。また、報告事項として、9月に実施した「まちづくり計画後期基
本計画」策定に向けたアンケートの結果を報告させていただきます。

午後8時半ごろには終了したいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、下埜副会長からご挨拶をお願いいたします。

2 副会長あいさつ

（下埜副会長） 議事進行を務めさせていただく下埜です。年の暮れで皆様も何かとお忙しい時
期ですので、円滑な議事進行に努め、午後8時半までには終了したいと思います
ので、皆様のご協力をお願いします。

3 協議事項

①中札内村デジタル田園都市国家構想総合戦略（第3期中札内村総合戦略）案、中札内村人口 ビジョン改定版について

ー資料1、2について説明ー

（委 員） KPIは何を基準に決定しているのでしょうか。

（下浦補佐） 令和5年度時点の実績値をもとに、次期の目標年度である令和11年度までにど
れくらい伸ばせるのかを庁内の会議で話し合い、決定しています。村民アンケー
トの結果（満足度）も参考にしています。

（委 員） 中札内村は素晴らしい村だと思っており大変満足しているのですが、この計画
を見ると、KPIの設定が現実的過ぎるように思います。目標はもっと高くして、
さらに上を目指してはどうでしょうか。

例えば行政手続のオンライン化手続数は32手続→35手続と3つしか増えてい
ません。全体でどれくらい手続があって、その内の何%をオンライン化するのか
というように割合で示した方が良いのではと思いました。

（下浦補佐） KPIについては確かに現実的な数字にしている部分はあります。例えば出生数

の KPI については、人口減少が止まらない流れにおいて、現状を維持するだけでも簡単ではないという考え方から、このような目標にしています。設定した目標値に満足することなく、少しでも高い成果を出せるよう、取組を進めて行きたいと思います。

(委 員) P.6 の教育分野についてですが、先日教育長から子どもたちの学力の高さや検定の成果についてお聞きして、大変関心いたしました。ただ、村を愛する気持ちを育てるといった視点を入れてほしいと思います。今もすでに模擬議会などの取組をやっていらっしゃると思いますが、子どもが村の良さを発見して、村をさらに良くしようという思いを持ってほしいです。

(下浦補佐) 大変重要な視点だと思います。教育委員会の分野となるため、この場で即答はできませんが、参考にさせていただきたいと思います。

4 報告事項

①「第7期中札内村まちづくり計画 後期基本計画」策定に向けたアンケート結果報告について

ー資料3について説明ー

(委 員) 資料2の P.9 の中学生アンケートの結果では、村外で暮らしたいという回答が45.9%となっています。村を出たいという回答が多いのはある意味仕方ないことだと思いますが、中学生や高校生の時から外部の方と触れ合う機会があると、村の良さを感じて、村に戻ってきたいという心が育つと思います。そのような取組を進めてほしいです。

(委 員) 資料3の P.44「9 中札内村のまちづくりへのアイデア」の中に、「帯広方面の通学バスを運行してほしい」とありますが、これは道の駅から出ているバスとは別でしょうか。

(下浦補佐) 十勝バスは中札内村始発のスクールバスを運行しています。これとは別に、村で独自にスクールバスを出してほしいという意見だと思います。

(委 員) 聞いた話だと、十勝バスは満員で乗れない状況だそうです。

(下浦補佐) おっしゃる通り、通学時間帯の路線バスは、中札内村が始発ではないため、村に来たときにはすでに座席が埋まっていて座れないことがあると聞いています。

(委 員) 日常生活の不便さは、おそらく買い物の不便さだと思います。ニコットやマックスバリュで日用品は揃うと思うのですが、皆さんにその辺をお聞きしたいです。

(委 員) 日常の買い物は村で済みますが、子どもの洋服を買うなら帯広になるので、そのついでに食料品も帯広で買うことがよくあります。ネットで買うこともできますが、服は実際に見て合わせてみないとわかりません。服や電化製品のことを指しているのではないのでしょうか。

5 その他

(下埜副会長) 今後のスケジュールを事務局よりお願いします。

(下浦補佐) 第3期中札内村総合戦略については、年明け1月中にパブリックコメントを行い、意見を公募したうえで、3月までに策定します。

次回会議は、3月の開催を予定しています。パブリックコメントの結果を踏まえた第3期総合戦略の策定報告と、2月に予定している村民ワークショップの開催結果の報告となります。日程が決まりましたら皆様に文書でご案内いたします。

(下埜副会長) 全体を通して何かありますか。

(委員) 資料を早めに送付していただいているので、序盤の説明は省いて良いと思います。

資料1のP.14「①出会いの場の創出」について、酪農は独身の方が多く後継者不足が深刻となっています。結婚して子育てもそうですが、一緒に寄り添ってくれる人は必要だと思いますので、酪農だけではなく、後継者確保のために、村としても取り組んでいただけたらと思います。

(中道課長) 農業青年だけでなく様々な分野の青年を集めた交流会を開催していますし、おびしんキューピッドやマッチングアプリ活用への助成など新たな取組を行っています。

(委員) 中札内村には農業実習に来て結婚している人たちもいます。そういったことも考えられるので、色々な取組を進めてほしいと思います。

(委員) この全体会議は、皆さんの意見を持ち寄って話し合いをする場だと思っていますが、一部の人のしか意見が出ない状況です。これは皆さんが意見を持っていないということではなくて、資料があまりに良くできているので、非の打ちどころが無いように見えてくるため、意見が出しにくいのではないのでしょうか。ロジカルに分析していかないと意見を申せないような提示に見えてしまいます。活発な議論を促進するためには、ポイントを絞ったり、質問形式にした方が逆に意見が促進されるのかと思いました。

(中道課長) 総合戦略に事業を記載することで、定住や移住、子育てなどの事業に交付金を充てることもできます。そのことも情報としてお知らせしておきます。

まちづくり計画策定に向けたアンケート結果報告書は、この結果を基に、後期計画にどんな施策を盛り込むかを検討する材料となります。

(委員) 色々な会議に出席しますが、大勢の会議だと発言するのは緊張します。隣の人と少人数で話し合う形式にすると、話しやすくなるかなと思います。

(下浦補佐) 全体会議の他に、部会に分かれて少人数で話し合う方法もあるため、ざっくばらんに話しができるよう、工夫したいと思います。

(委員) アンケート報告書のP.12にある、「中札内村の自慢できるもの」が面白いと思いました。「人がやさしい」とか「犯罪が少ない」などが挙げられており、Tシャツにして着たら面白いのではと思いました。

日常生活が不便という意見があり、確かにちょっと退屈だなと感じることもありますが、都会に行くと村に帰りたくなります。不便だから住みにくいという訳でもないと思います。

(委員) 村でTシャツを配布していただけたら私も着ますよ。

(委員) どころと比べるかで視点が変わり、村の良さに気付けると思います。そういう気付きのきっかけがあると良いと思います。実際に村を出て暮らしている方の話を聞くと、なるほどと思うことがあります。視点が変わってくると思うので、中札内村は他よりもこういうところが恵まれているということを、若い世代が触れる機会を設けると、ポジティブになれると思います。村を出た方から時々話を聞くのですが、中札内村は素晴らしいと言っています。良い所も悪い所も、両方見ることが大事なと思います。

(委員) 村外から来た方の目線も大切ですが、中札内村出身で村にずっと住んでいる方の意見こそ大切だと思います。

(下埜副会長) ありがとうございました。以上をもちまして、本日の委員会を閉じます。大変お疲れ様でした。

(閉会) 20時00分